

【功労賞】

会津若松市における教育・文化・体育の振興に顕著な功績があった方

〔教育学術功労賞〕

ひらいで みほこ
平出 美穂子 (78歳)

平成22年から会津若松市郷土研究奨励金審査委員の要職にあり、令和2年からは同委員会委員長を務めており、現在まで14年間にわたり、郷土研究の発展に貢献している。

さらに、会津や福島県の食文化の歴史に着目した研究を深め、多数の著書の出版や講演を行うなど、本市の教育学術についての功績は顕著である。

〔文化芸術功労賞〕

ふじわら ひとし
藤原 妃敏 (70歳)

平成15年から会津若松市文化財保護審議会委員を務め、平成28年からは同審議会会長として、文化財の保存及び活用に関する審議に関わり、本市の文化財保護に寄与した。

また、神指城保存検討会委員や、会津若松市文化財保存活用地域計画協議会、福島県考古学会などの要職を歴任するとともに、福島県立博物館のボランティアとして地域の子どもたちへの講義を通して歴史文化の啓発に努めるなど、本市の文化振興についての功績は顕著である。

〔特別教育功労賞〕

ふくしまけんりつあいづだいにこうとうがっこう ふぼ きょうし かい
福島県立会津第二高等学校父母と教師の会

昭和24年の創設以来、長きにわたり教職員と保護者が緊密に連携し、働きながら学ぶ生徒に対して夜間定時制ならではの特色あるPTA活動を行っており、本市の教育振興についての功績は顕著である。

また、本年8月には、PTA団体の表彰としては最高賞である優良PTA文部科学大臣表彰を受賞するなど、教育環境の充実に向け、精力的に活動している。